

	<p>平成31年第1回奥出雲町教育委員会定例会会議録</p> <p>日 時 平成31年1月23日（水）</p> <p>開 会 16時00分</p> <p>閉 会 17時00分</p> <p>場 所 横田庁舎 三階 第二委員会室</p> <p>出席委員 福田充雄教育長職務代理者 荒金勇吉教育委員 谷尻圭子教育委員 松原律子教育委員 塔村俊介教育長</p> <p>委員会事務局 堀谷智樹教育魅力課長 永瀬克己結婚・子育て応援課長 長谷川史郎教育魅力課長補佐、（書記） 山田</p>
塔村教育長	<p>（挨拶）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月3日放映テレビ番組「嗚呼、懐かしの我が校歌」について（ホッケーの錦織選手、山本選手）。</li> <li>・再編方針の具体的なスケジュールについて（2月には教育委員会で意見を取りまとめ、3月には総合教育会議で方針決定、方針決定できれば議会の方にも説明しながら、新年度に各地区説明を想定）</li> </ul> <p>※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言</p> <p>※会議録署名委員 松原委員</p> <p>《議事》</p> <p>①奥出雲町立小学校再編方針（素案）について【継続審議】</p>
事務局	<p>*アンケート結果グラフの修正について説明。</p>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高尾小、三成小の統合（2022年）までに住民の皆さん、特に保護者の皆さんには丁寧な説明が必要。</li> <li>・町の方針をきちっと持ちながら、住民の皆さんの意見を聞き、修正できる部分は修正していくという形で、しっかりと説明していく必要あり。</li> <li>・仁多地域の小学校を仁多中の場所に統合した際、横田地域をどうするのかということを経済的にはきちっと考える必要あり。</li> <li>・学校規模は、素案の形が人数的にも一番いいだろうと思われる。固定化された</li> </ul>

	<p>人間関係をどこでほぐしてやるかということも考える必要あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規模としては2クラスが維持できて、年次的にクラス替えができるようなそういう学校を目指していく必要があると思われる。</li> <li>・仁多中学校の敷地内とあるが、どこを共有してというのが一番心配な部分だとは思われる。例えば、ランチルーム、体育館の共有となった時に教育課程のありようと時間割といろんなことを総合的に勘案しどうするのかということをも前もって考えないと、親には非常に心配な部分があると思われる。</li> <li>・小学校1年と6年とは5つ、6つの年差、中学校もとなると8つも9つも年差がある。そういう子どもたちが一か所にいるとか近いところにいる、あるいは同じ校舎を使うというプレッシャーが必ずでてくる。心のケアをどうしていくかということも考えていかないといけない。</li> <li>・中1プロブレムはなくなると思われるが、小1プロブレムが出てくることを懸念。そのときハード部分だけでなく、教育課程の部分や心のケアの部分も総合的に考えないと、統合の方向に向かわないと思われる。</li> <li>・課題が多くあるので、課題を整理して教育委員の全員が説明できるようになる必要あり。それが私たちに課せられた大きな仕事と認識。</li> </ul>
荒金委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の皆さんにあるいは地域住民の方と対立しないよう、気持ちがちゃんと向けるような形で進めないと、どこかで間違っって話が進まなくなること懸念</li> <li>・町の方針をしっかりと示さないと（議論が）ずれていく可能性がある。そこは押さえながら、進め方の具合が難しいだろうと推察する。</li> <li>・アンケート結果をみると「段階的に統合すべき」という意見がかなりある。その現実をかなり重たく受け止めながら、再編を進めざるを得ないというのが正直な気持ち。</li> <li>・是非とも住民あるいは保護者たちが「こんな学校にしたい」と夢が語れる場を、計画を進めていく上で必ず入れてほしい。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合の必要性は10年以上前から認識しており、これに反対することはない。</li> <li>・小学校児童の保護者だけでなく、現在幼稚園に通っている子の保護者に、町の姿勢がきちんと伝わる説明をする必要あり。</li> <li>・中学生と同じところで9年間子どもが生活する勉強するということに対し、かなり危機感、不安感があると思うので、具体的な言葉でちゃんと伝えないと通じないと思われる。</li> <li>・町内小学校の授業参観に参加した際、先生たちの中にでも現状の実数、今後の推移をご存じないことを感じた。ここにあるデータをきちんと示して、1学年2クラス学級の必要性、複式の繰り返しではどこがだめかということきちんと伝える時期にきたと感じる。</li> </ul>

松原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年ぐらい前、初めて教育委員会の中で再編についての話し合いが2年間話し合いをされて、当時はPTAの立場で参加し、4回、5回話し合いがいろんな立場な方を囲んで行ったが、話が深まらないまま、私たち本当に理解しているのかなとすごくなんかもやもやとした気持ちで最後の会を終わったことを思い出した。</li> <li>・最近、知人から噂話として「仁多地区は仁多中学校の隣に奥出雲会館の近くに中学校ができるか」と聞かれたが、私自身が即答できなかった。</li> <li>・委員の立場にある自分たちが誰から聞かれて明確に説明できる状態にならなければいけないと痛感した。</li> <li>・これから先どういう話し合いですすんでいくかわからないが、お互いの主張、保護者の方や地域の方とも自分の立場だけを主張するんじゃなくてお互いに立場を交換し合うような感じで主張をわかりあえるようにして前進をしないと、この大きな計画は絶対前に進まないと思う。無理やり進むようなことだけは、地域の方保護者の方私達みんな含めて、絶対あってはいけないこと。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この案をつくりながら私自身も思ったこととして、1つのデータ、数字に示して、各学校の推移、あるいは町全体、仁多、横田を分けた時の推移を数字で表した時に、漠然とイメージしていた状況とは違っていた。</li> <li>・特に横田地域については、クラス替えができる規模ぐらいにはなるだろうというのが当初イメージではあったが、実際にはほとんどクラス替えができない。</li> <li>・(H29 実施) アンケートにおいても、自分の母校を残してほしいということで反対の人も多いだろうというのが実施前のイメージだったが、結果としては、親として子どもを通わせている学校について、切実なる思いを自由記述欄に書いていただいた。</li> <li>・この案を説明していけば、どのような内容であっても賛成と反対がでて、真っ二つに割れるような展開になる、と思う。かと言って案を示さずに放置すれば、逆にふつつつと（保護者等から）声が出てくるというような事になると思う。</li> <li>・やはり教育委員会の責任として、現実をふまえて今後こういうことになるということを示しながら「私たちとしてはこう思う」というのを1つ提示させていただきたい。</li> <li>・三成小移転の件でも痛感しているが、この案で押し切るということではなく、あくまで教育委員会はたたき台を提示させていただいているということ。これをもとに大きく議論をしていきたい、ということはずいぶんお伝えいただきたい。</li> <li>・ただ、スピード感も持っていきたい。2年3年4年5年と議論していくことは大事だが、自分の子どもがどんどん大きくなっていく中で、立場があればある人ほど自分と関係ないというか、遠い先の未来になりすぎて、自分ごとに全く影響がない恩恵がないということになりかねない。</li> <li>・必要な期間はとりながらも先延ばしすることなく、できるだけスピード感をもってやらなきゃいけない。かなりタイトなスケジュールを提案させていただいてい</li> </ul>

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これをできるだけ関心をもってもらって、ちゃんとした情報をつかんでいただいて、現実を受け止めていただいて、実際にはこれより厳しくなるかもしれない、10年前のデータとは正直、今回の方が厳しくなっている現実がある。動き始めても3年4年5年後という話になる。やはり、動き出そう、議論しようという雰囲気町全体でつくっていくことが大切じゃないかと思っている。これからの1年間、議論していけるようにしたい。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>仁多地域ばかり改善されるイメージが先行しているように感じる。</li> <li>通いたくなるようないい学校、子どもにとって一番いい学校ができるというビジョンをきちんと作り上げて、きちんと保護者へ伝えることも大事。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的には今回の再編計画では、町全体で仁多地域、横田地域も同じタイミングでと思っている。</li> <li>仁多地域ばかりクローズアップされるのは、三成小の件があるため。なぜ三成小の件を先行して動いているかという、三成小の担っている役割として再編後の学校としての規模感が必要であるため。</li> <li>普通学級が12学級になる仁多地域と、普通学級が7学級になる横田地域。素案にはないが、横田小の場合は今の教室に2教室程度増築で何も問題ない。かたや、今の三成小学校プラス7学級必要なところとなるという事実もある。</li> <li>現状の三成小、横田小にとって、再編し他地区の子が来る利点はここ数年では正直示にくい。</li> <li>でも、そうじゃないだろうというご理解はいただきたい。自分のところ（地区）だけいいじゃないというところではない。みんな友達、中学校では一緒になる仲間なので、どうやって育っていくかということは考えていただきたいということは伝えていきたい。</li> </ul>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ中学に行くということで、キャンプ、修学旅行は一緒にする、など統合の前振りみたいなことは、既にやっている。</li> <li>その必要性を考えた時に、ある程度の集団で行事を組んでいく、中1プロブレムが起きないために子どもたちがお互い理解しあう機会をたくさんつくっていくところやっている。そういう意味では、精神的な統合というところでは動いているはず。その説明も必要。</li> <li>将来的にはこんな学校ということを示すためにも、今現状の成果や課題をきちんとだしていくこと、現状を示していく必要がある。</li> <li>去年5月に阿井で50人ぐらいのある会があって、統合の話がでた。保護者が半分、その他が半分で、で結局統合は必要という話になった、地域のエゴを言っている時代ではない、子どもは共通の宝、子どもがよいようにみんなで育てていか</li> </ul>

<p>塔村教育長</p>	<p>ないといけんという話になった。なので、議論を（地区へ）もっていくといい話になると思う。しっかり議論できるようにもっていけばいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会として、今まで再編案を提示してこなかった責任は大きいと思っている。</li> <li>・中身は更に精査し、来月のところで正式バージョンとして提案させていただきたい。それまでのところでご意見等あれば、ご連絡を。</li> </ul> <p>【議決せず、継続審議】</p>
<p>事務局</p>	<p>《諸連絡》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 町内学校卒業式、入学式の予定について</li> <li>* 2月、3月の定例会日時について（2月定例会は2/12に決定）</li> <li>* 3月の総合教育会議について</li> </ul> <p>（定例会終了）</p> <p style="text-align: center;">会 議 録 署 名</p> <p style="text-align: center;">松原 律子</p> <p style="text-align: center;">塔村 俊介</p>